

宮城支部 村上支部長を訪ねて
直轄指導員 西 照之

10月8・9・10(土・日・月)と、世間一般では三連休である。その休みを利用して、秦師範・奥本・中西・三浦の各支部長と、落合初段・谷 三級、そして私(西)で、宮城県名取市にある、極真会館 宮城支部(支部長 村上成之師範)に慰問に行かせて頂いた。

宮城県までの道中は非常に長く、三連休の初日でもあるので渋滞に巻き込まれないように最適なルートを走行しても、片道12時間の長旅だった。

10月7日(金)深夜3時前に橿原を出発して、目的地の宮城県(村上支部長の御自宅)に到着したのは10月8日(土)午後3時を過ぎていた。正直、睡魔との闘いに(?) 四苦八苦していたものもあり多少の疲労感があったのだが、私達一行を出迎えてくれた村上支部長と奥様の笑顔で、睡魔もブッ飛び、気持ちも引き締まった感じだった。

村上支部長の御自宅で3月11日(金)に、東日本を襲った大震災・津波の事を詳しく聞かせてもらい、御自宅の手前まで津波が迫っていた事や、何日にも渡って御自宅周辺はゴーストタウン化して誰も人が居なかった事などを、震災当時の写真・新聞を見せてもらいながら話に耳を傾けた。

私達が訪れた時は、未曾有の大震災から半年が過ぎており、随分と復興も進んでいた。連日、TVで報道されている状況を想像していただけに、大変失礼な言い方だが...悲惨な状況が広がっていると思っていた。しかし"人"の力は凄く、大震災から、半年程でゴーストタウン化していた町や家々を(ほんの一部だが...)復興し『明るいモノ』にしていたのには、本当に驚きだった。

御自宅で30分程お話を聞いた後、車で町を案内してもらったが、ビックリしたのは、沖合から2~3kmは離れているのにも関わらず、田んぼや家々が建ってたであろう場所(現在は更地になってる所が大半...)に、漁船や小型船が打ち上げられ、点在していた事である。家も殆ど無く、あっても中身が空っぽのものが多数あった。只、町の中心に来ると、人や物はそれなりに溢れて活気があったように思う。

私自身、16年前の平成7年(1995年)1月17日午前5時46分に発生した、阪神淡路大震災を経験しており、当時住んでいた神戸市長田区の自宅は全壊し、目の前で亡くなった人を嫌でも見ており、燃え上がる町や商店街を見て愕然としたのと、恐怖感よりも悲壮感で頭が一杯だったのを今でもハッキリと覚えている。

阪神淡路大震災では、幸いにも津波が来る事はなかったが、もし津波が来ていたならば...
東日本大震災規模のものでなくともその被害は想像に難くないと思う。

一通り町を案内してもらった後は、宮城支部の本部道場でもある名取道場にて少年部の稽古に参加させて頂いた。

三連休の初日と言う事もあり何時もよりは少ない出席との事だが、それでも 10 名程の出席があった。

日頃決して見る事のない、筋肉モリモリ！ゴツゴツと岩のような大きい秦師範におっかなびっくり(!?)の少年部のみんなだったが、村上支部長の号令で力強い突き、蹴りを繰り返してた。

村上支部長の話によると、道場生の中にも今回の大震災で家族の方が亡くなられたり、家を津波で流されたりして辛く深い悲しみのなかにいる方もおられるとお聞きし、非常に心が痛む思いだった。

只、こうして難を逃れ元気に稽古に励む少年部には、へこたれる事なく、明るく！そして希望を持って日々の稽古に取り組んで頑張ってもらいたいと願うばかりである。

約 1 時間半の稽古を終えて、秦師範より村上支部長に、この半年間で集めた募金や有志、先の大仏杯の収益の一部、そして奈良支部道場生から、宮城支部道場生への寄せ書き等を、労いの言葉と共に村上支部長にお渡しした後、全員で記念撮影して名取道場を後にした。

その後は、村上支部長と夕食を共にし、今回の大震災の事や日々の生活・そして空手談義に花を咲かせ非常に楽しい時間を過ごさせてもらった。

食事の後近くの銭湯まで案内してもらい、村上支部長より丁寧なお礼の言葉をかけて頂きお別れした。

私達一行は案内してもらった銭湯で昨夜からの疲れと汗を流し、しばしの休憩(仮眠)をとって宮城を後にした。

帰りは連休の真ん中とあって多少の混雑があったが、午後の 3 時過ぎには無事に奈良に到着した。

道中の方が長く宮城で"何か"をした分けではないのだが、実際に行って現状を目にする事で事の真相が分かり多少でも把握出来たと思う。又、私達が思う以上に宮城の方々は、活気に溢れ希望に満ちているように思えた。その一方で、未だに多くの方々が生活に困窮し、希望を見出だせないまま日々を過ごしてる事も事実である。

完全な復興には恐ろしく長い時間を費やす事と思うが、必ず"明るい未来"が築かれる事は

間違いない事であり、一步一步、確実に歩を進めて震災依然以上の"最高"を築く事を願うばかりである。

この度の東日本大震災にて、被災された村上支部長をはじめとする道場の皆様、そして被災された全ての皆様に心よりお見舞い申し上げます共に、亡くなられた多くの皆様方に深く追悼の意を捧げます。

短い時間の宮城県(宮城支部)慰問だったが、"行って良かった"と、言う"充実感"のようなモノは得られたと思う。

その理由の一つは、大変な困難な中であるにも関わらず、私達一行を笑顔で出迎えてくれた村上支部長と奥様。そして元気一杯の少年部の笑顔を見ることができた事だと思う。単純だがそれに尽きる。常に前向きで、明るく！

秦師範、奥本・中西・三浦支部長のお三方、そして、落合初段・谷三級、大変お疲れ様でした！

私達も、日々を充実したものにする為にも、又、その充実を力に変えて一人でも多くの方に"与えられる"ようにする為にも、より一層稽古に励み頑張ってください。

押忍！！